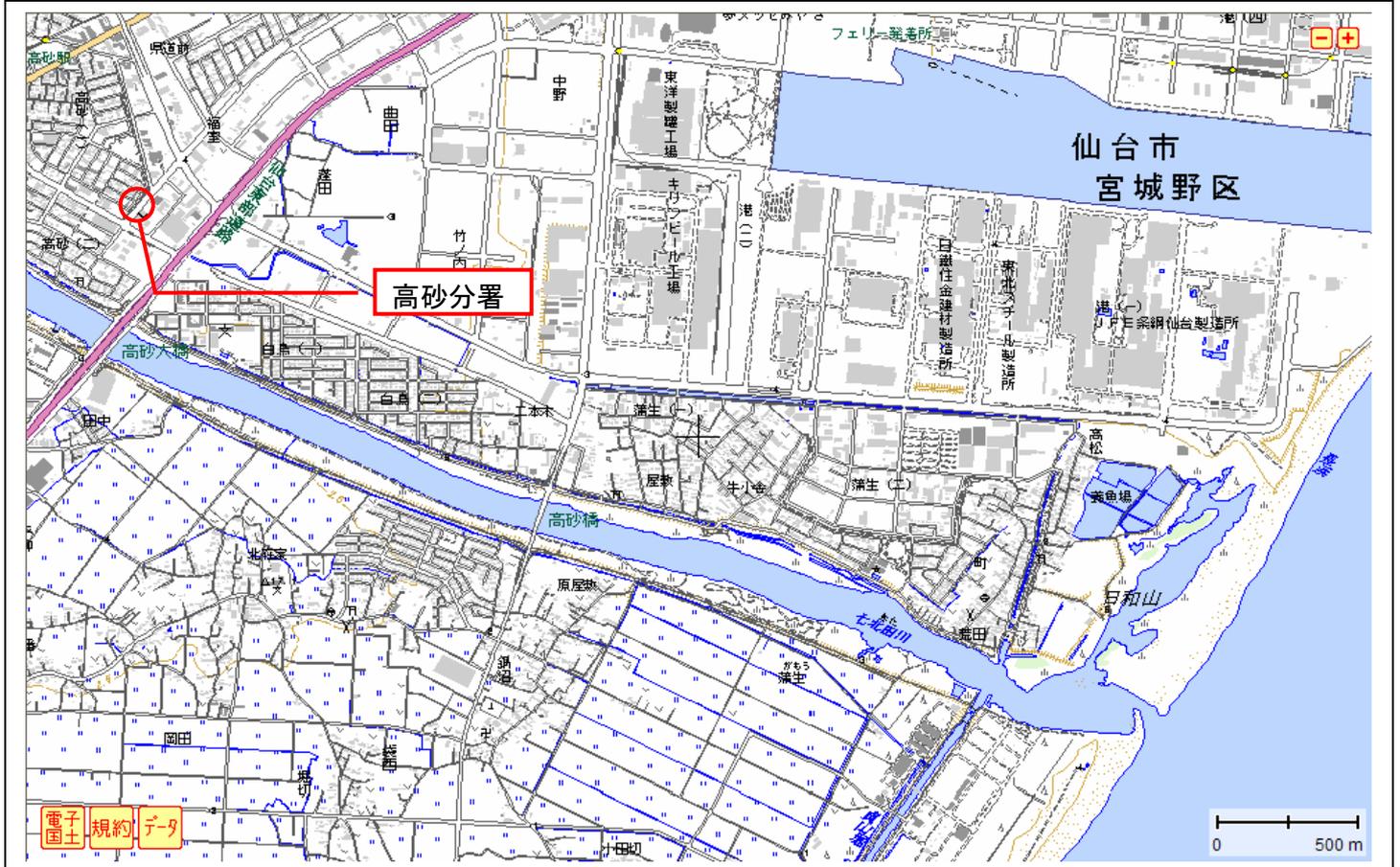


東日本大震災 消防署所の活動及び被害状況に係る調査票
 (死者・行方不明者が発生した太平洋に面した消防本部を対象)

調査日：平成23年 4月11日

消防本部名	仙台市消防局	構成職員数	1,097人※
構成市町村	仙台市	構成署所数	6消防署2分署21出張所
調査署所名	高砂分署	庁舎職員数	163人(宮城野署全体) ※

調査対象の消防署所位置



○庁舎全景

庁舎の全景写真 1



荒浜航空分署が被災したため、高砂分署は海に最も近い活動可能な署所。仙台港、新浜など被災地に近い

庁舎の全景写真 2



海に近いが津波による被害はない。地震による被害もなく、署は機能している

庁舎の全景写真 3



写真右は消防団車両。海岸付近は行方不明者の捜索が続けられており、活動の拠点となっている様子だった

○庁舎周辺の様子

庁舎周辺の写真 1



庁舎前道路、署所を背に左手(海側)を見る。
奥の陸橋を越えた辺りから津波の痕跡があった

庁舎周辺の写真 2



庁舎前道路、署所を背に右手(内陸側)を見る。
津波跡はないが、地震のためか電柱が傾いている

○周辺の被害の様子

周辺の被害の様子 1



仙台港付近での火災跡。津波との関連は不明

周辺の被害の様子 2



仙台港付近での火災跡 2。津波との関連は不明

周辺の被害の様子 3



仙台港周辺では多くの車両が津波で流された。
調査時もまだ多くが路肩に放置されていた

周辺の被害の様子 4



震災前に集落があった場所に瓦礫が広がる。
こうした場所が続いており、捜索域は大変広い

周辺の被害の様子 5



家屋の基礎が残っており、集落であったことが伺える

周辺の被害の様子 6



未だ多くの行方不明者がおり捜索が続けられていた

※職員数については市 HP による。 http://www.city.sendai.jp/shobo/_icsFiles/afieldfile/2010/12/10/3-2_1.pdf

以上